

「令和6年能登半島地震」について（第19報）

－引き続き活発な地震活動に注意－

地震活動は依然として活発な状態です。今後1週間程度、最大震度5弱程度以上の地震に注意してください。引き続き、強い揺れを伴う地震への注意をお願いします。また、海底で規模の大きな地震が発生した場合、津波に注意する必要があります。

○ 地震活動の状況

1月1日に発生したM7.6（最大震度7）の地震以降、地震の発生数は増減を繰り返しながら大局的には緩やかに減少しています（別添1）が、平成16年（2004年）新潟県中越地震や平成28年（2016年）熊本地震などと比較しても、地震回数は多く推移しています（別添3）。

今回の地震の活動域は、能登半島及びその北東側の海域を中心とする北東－南西に延びる150km程度の範囲に広がっています（別添5）。

○ 今後の地震活動の見通し

1月1日に発生したM7.6の地震の発生前と比較すると、石川県能登地方ではこの1週間（2月15日以降）でも震度1以上を33回観測するなど、地震活動は依然として活発な状態です。今後1週間程度、最大震度5弱程度以上の地震に注意してください。最大震度5強や6弱以上の地震についても、平常時と比べると依然として発生しやすい状況にあります（別添2）。

なお、日本海沿岸の大地震である昭和39年（1964年）の新潟地震（M7.5）や昭和58年（1983年）日本海中部地震（M7.7）、平成5年（1993年）北海道南西沖地震（M7.8）の際には、最大の地震の約1か月後に大きな規模の地震が発生しています（別添4）。昨年12月までと比べて地震活動の範囲は広がっており、これまでより広範囲で強い揺れを観測しています。また、海底で規模の大きな地震が発生した場合、津波に注意する必要があります。

2月9日に開催された地震調査研究推進本部地震調査委員会で詳細な検討がなされた結果、「これまでの地震活動及び地殻変動の状況を踏まえると、2020年12月以降の一連の地震活動は当分続くと考えられ、M7.6の

地震後の活動域及びその周辺では、今後強い揺れや津波を伴う地震発生の可能性がある。」とも評価されています。

○ 防災上の留意事項

1月1日に発生した M7.6 の地震により揺れの強かった地域では、家屋の倒壊や土砂災害などの危険性が高まっていますので、復旧活動などを行う場合には今後の地震活動や降雨・降雪の状況に十分注意し、やむを得ない事情が無い限り危険な場所に立ち入らないなど身の安全を図るよう心がけてください。

○ 震度1以上の地震回数（2月22日12時00分現在）（別添6）

1月1日16時以降、震度1以上を観測した地震が1675回発生。

（震度7：1回 震度6弱：2回 震度5強：8回 震度5弱：7回
震度4：48回 震度3：168回 震度2：429回 震度1：1012回）

本件に関する問合せ先：

（全般について）

地震火山部 地震津波監視課

電話 03-3434-9041

（地震活動について）

地震火山部 地震火山技術・調査課

電話 03-3434-9040

「令和6年能登半島地震」の各県毎の最大震度別地震回数

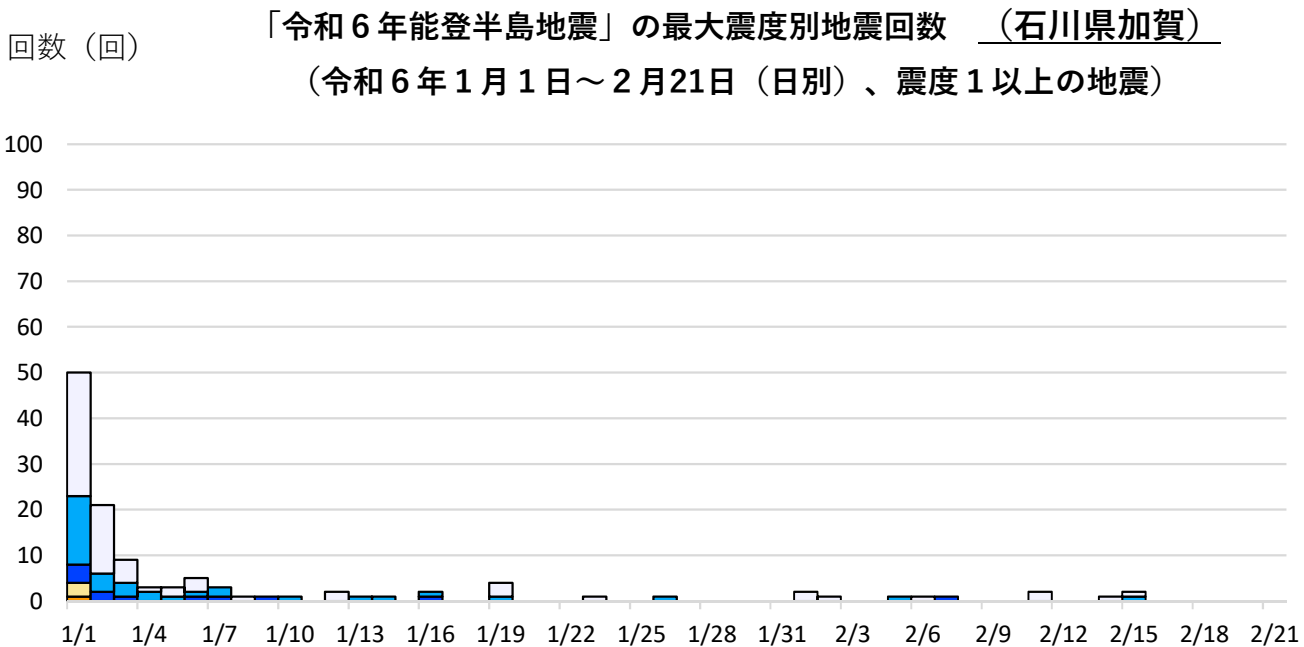
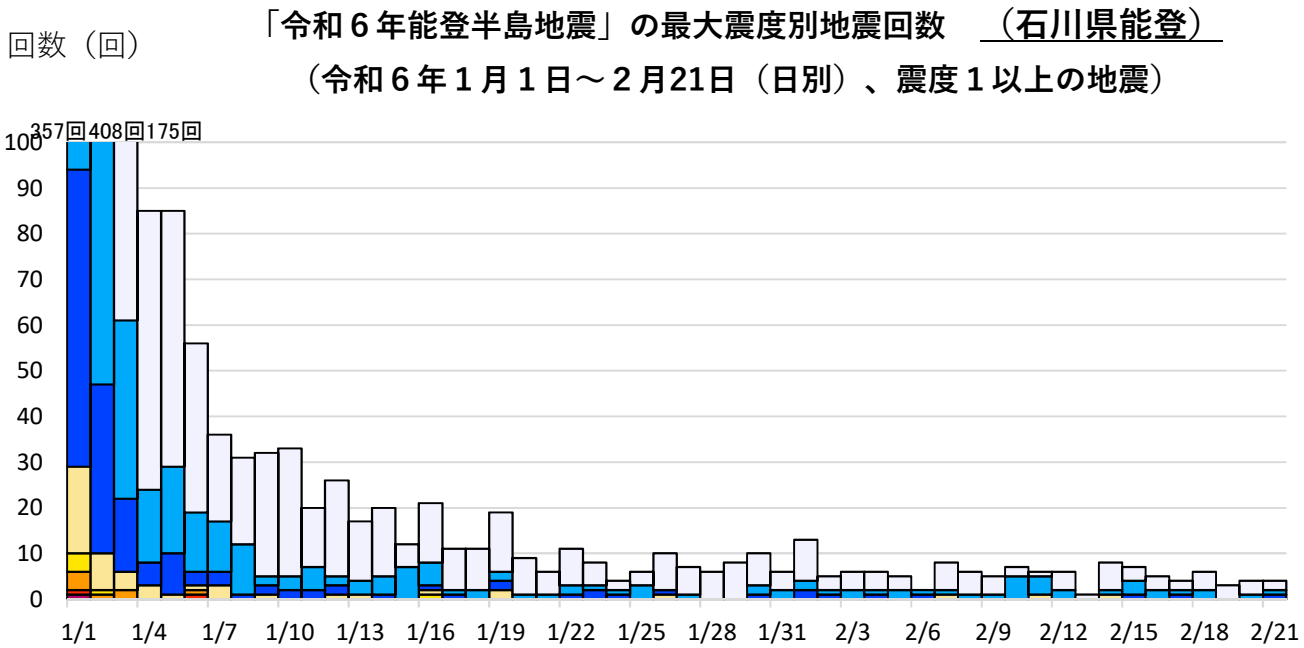
令和6年1月1日～令和6年2月21日、震度1以上の地震

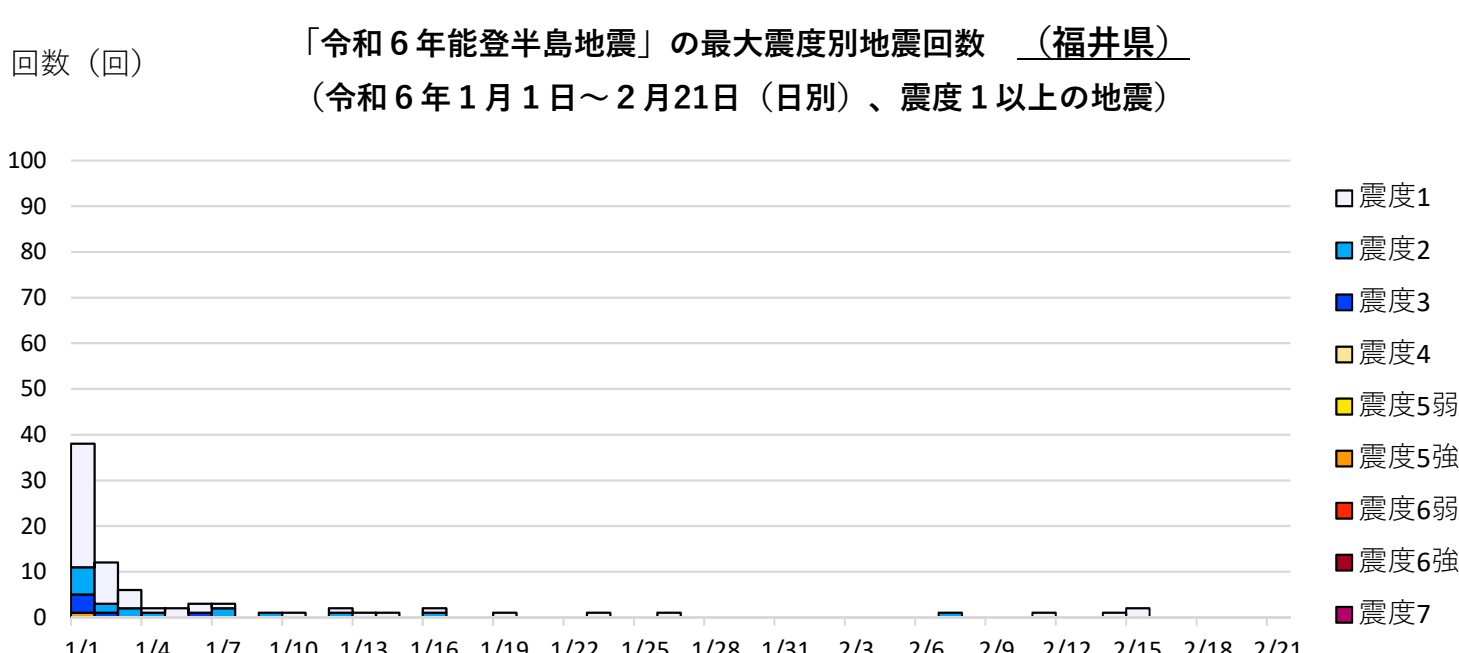
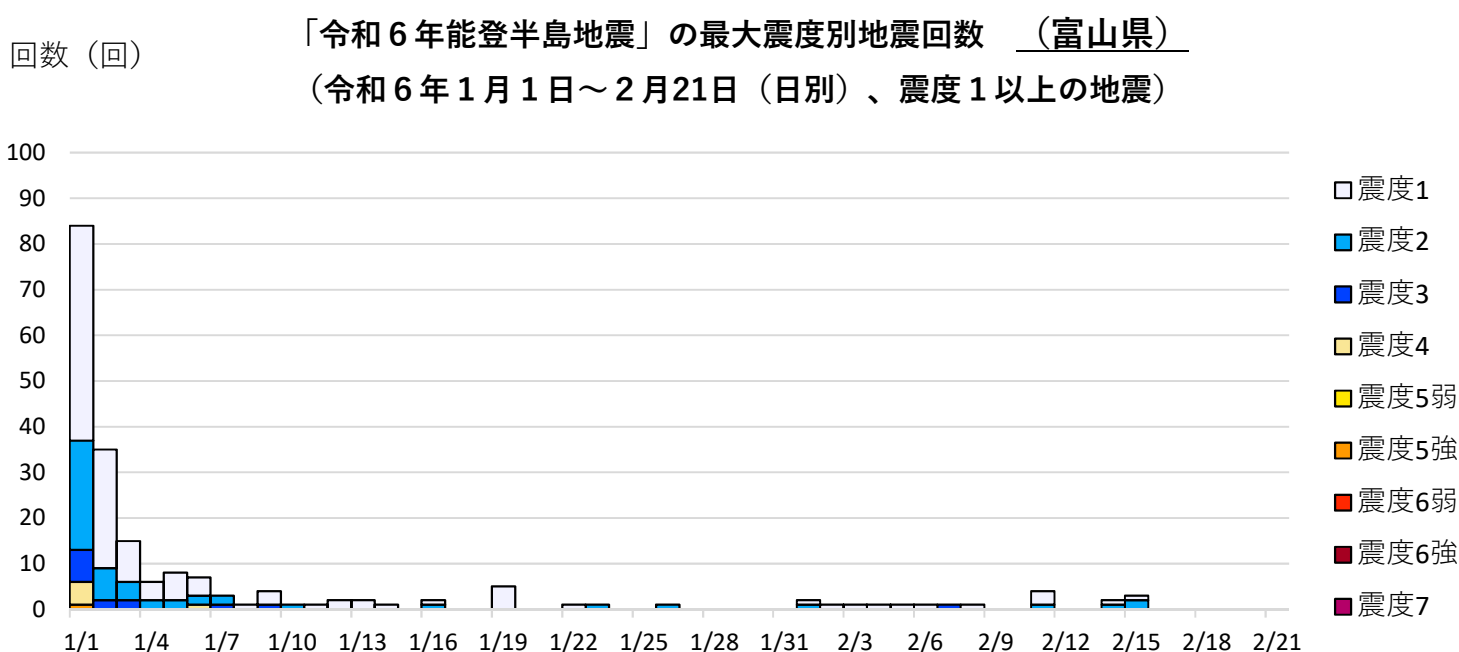
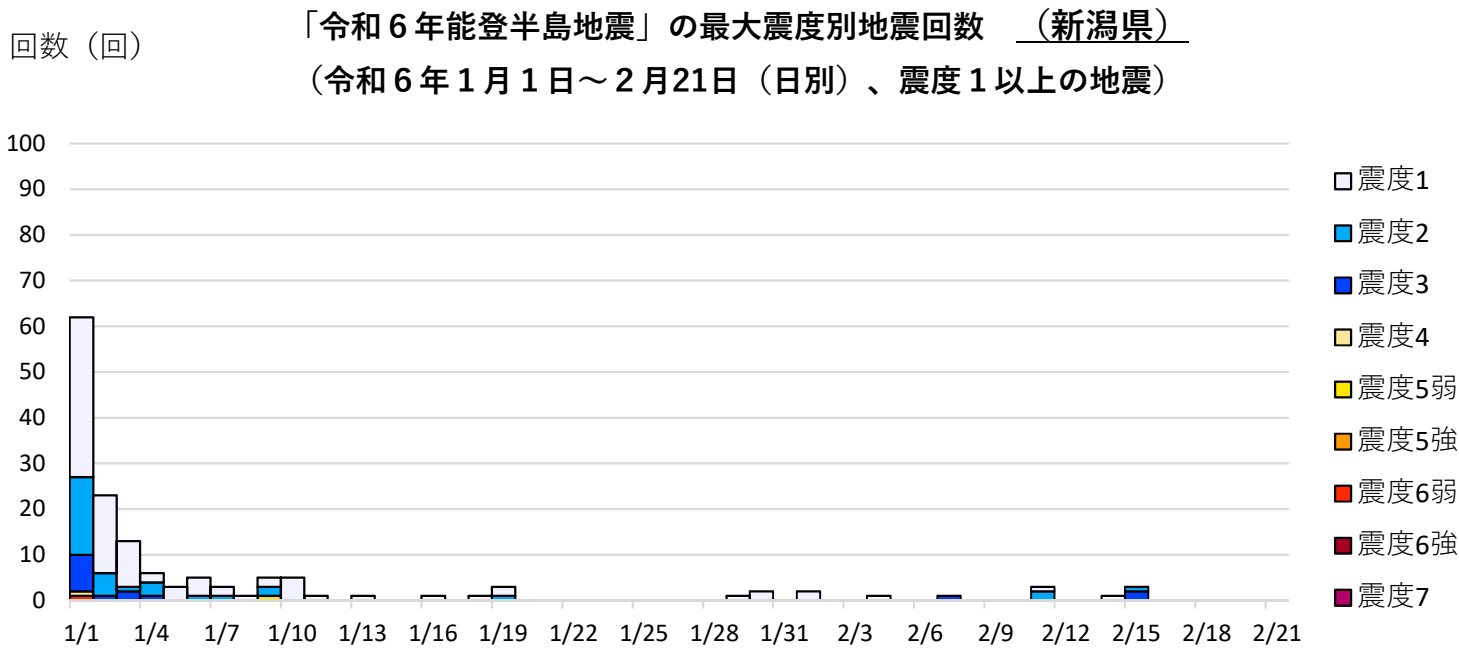
※北陸地方の各県別(石川県は地域別)

(注)掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合があります。

石川県能登：七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町

石川県加賀：金沢市、小松市、加賀市、かほく市、白山市、能美市、野々市市、川北町、津幡町、内灘町





「令和 6 年能登半島地震」 地震発生確率の状況（2月22日00時00分現在）

- ・前回（2月16日）の報道発表時点では、「今後 1 ～ 2 週間程度、最大震度 5 弱程度以上の地震に注意」としていました。
- ・本日の時点でも、最大震度 5 弱程度以上※¹の地震の発生する可能性は依然として高い状態です。発生する可能性が高い期間は「今後 1 週間程度」です。
- ・地震発生確率※²は1月1日のM7.6の地震発生当初に比べて 1 / 10程度、平常時の 30倍程度となっています。

地震発生確率の状況

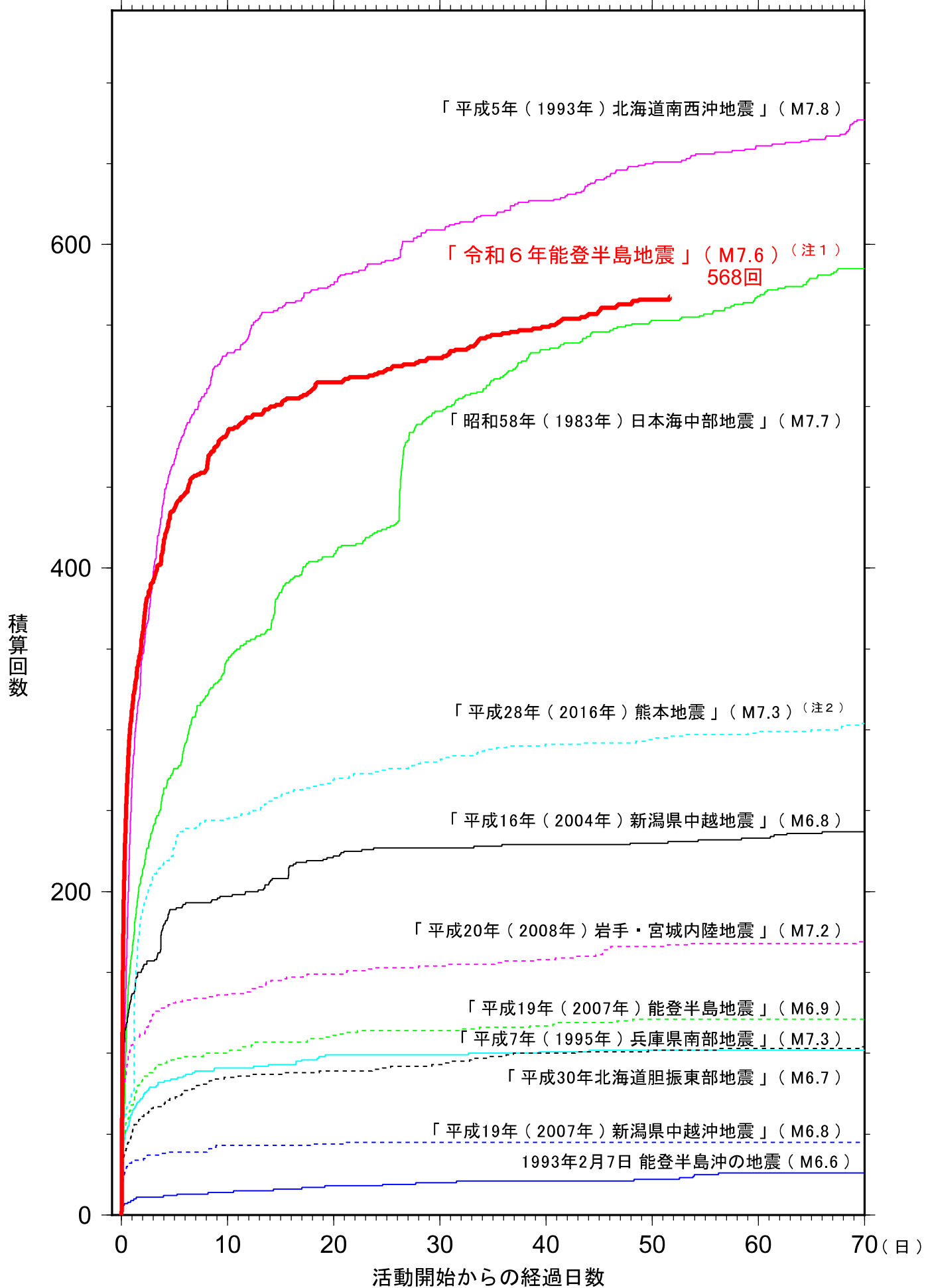
地震発生確率の起点日時	地震発生当初との比較	平常時との比較
	最大震度 5 弱程度以上※ ¹	最大震度 5 弱程度以上※ ¹
2月22日00時	1 / 10程度	30倍程度

- ※ 1）確率は比較的低いものの、最大震度 5 強以上を観測する地震についても、平常時と比べると依然として発生しやすい状況にあります。
- ※ 2）地震調査研究推進本部の報告書「大地震後の地震活動の見通しに関する情報のあり方」（2016年8月）に基づき、以下の通りとしています。
- ・本資料における地震発生確率とは起点日時から3日間の地震発生確率です。
 - ・地震発生当初の確率は、地震発生直後から3日間の確率を計算したものです。
 - ・「地震の発生する可能性は高い状態」の判断は、1ヶ月に1回程度の発生に相当する確率値を基準にしています。
 - ・平常時との比較で100倍を超えている場合は、「100倍超」としてしています。

陸のプレートでの主な地震活動の地震回数比較 (マグニチュード3.5以上)

(回)

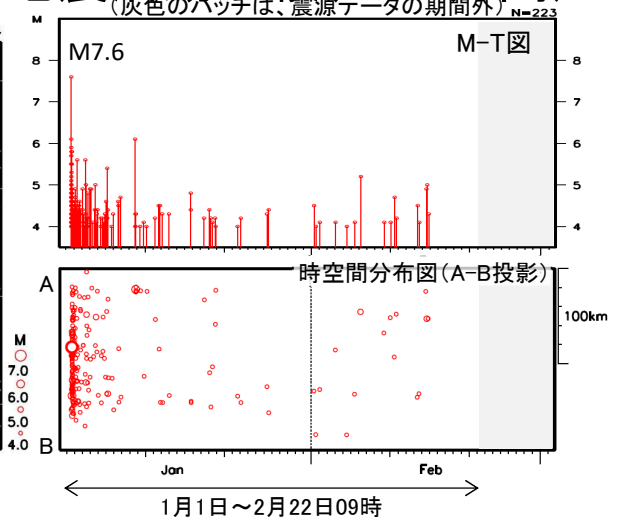
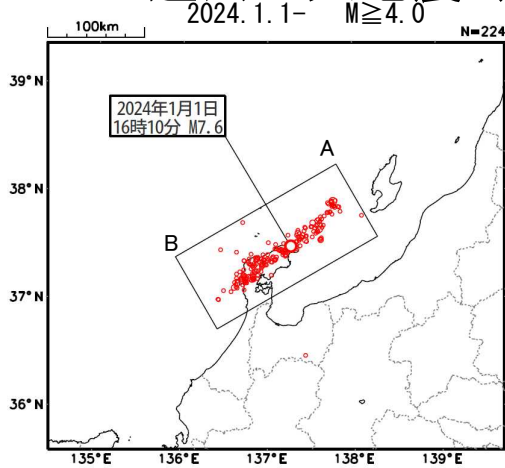
2024年02月22日09時00分現在



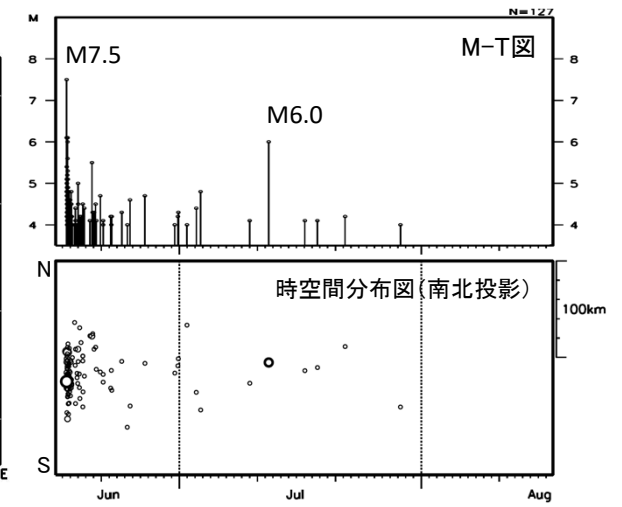
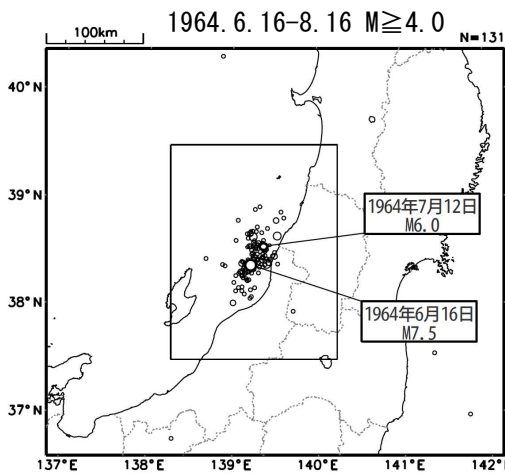
※この資料は速報値であり、後日の調査で変更することがある。
※今回の地震のマグニチュードについては、これまでの最大を示している。
(注1) 2024年1月1日16時10分(M7.6)の地震を起点にカウントしている。
(注2) 2016年4月14日21時26分(M6.5)の地震を起点にカウントしている。

日本海沿岸で発生した過去の大地震（地震活動比較、2か月間）

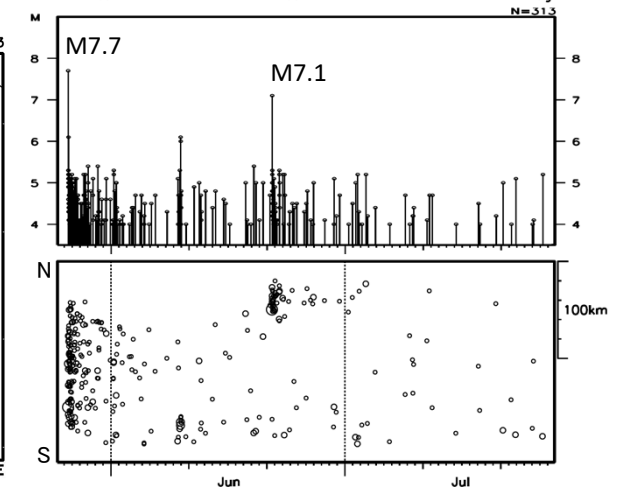
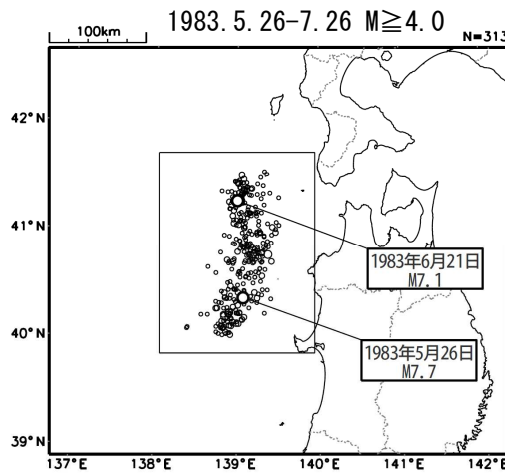
令和6年能登半島地震 (M7.6, 最大震度7)



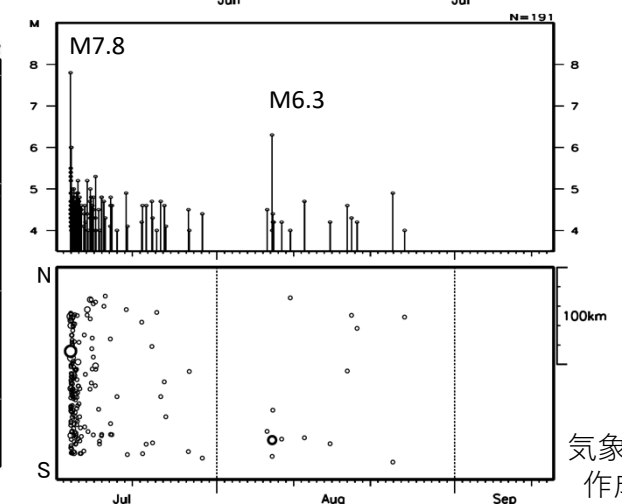
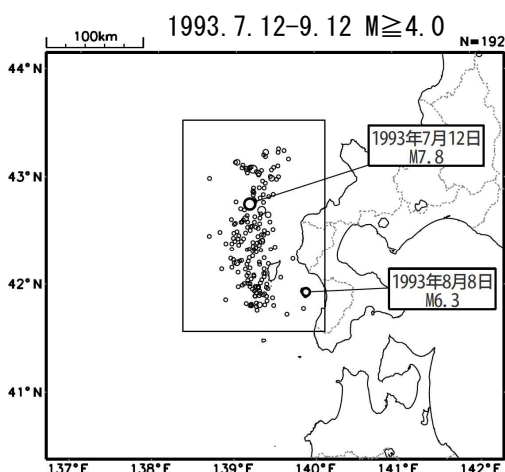
1964年新潟地震 (M7.5, 最大震度5)



1983年日本海中部地震 (M7.7, 最大震度5)



1993年北海道南西沖地震 (M7.8, 最大震度5)



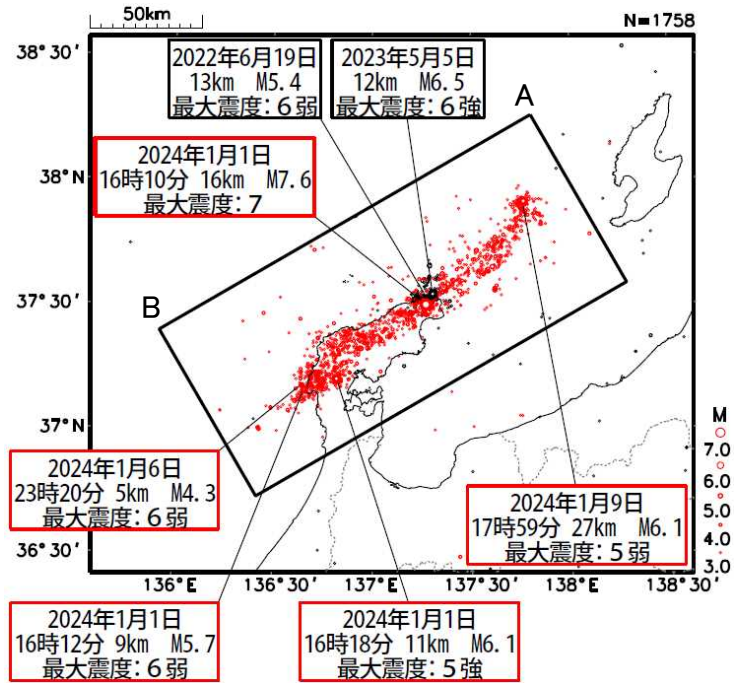
「令和6年能登半島地震」の地震活動 (発生場所の詳細)

(別添5)

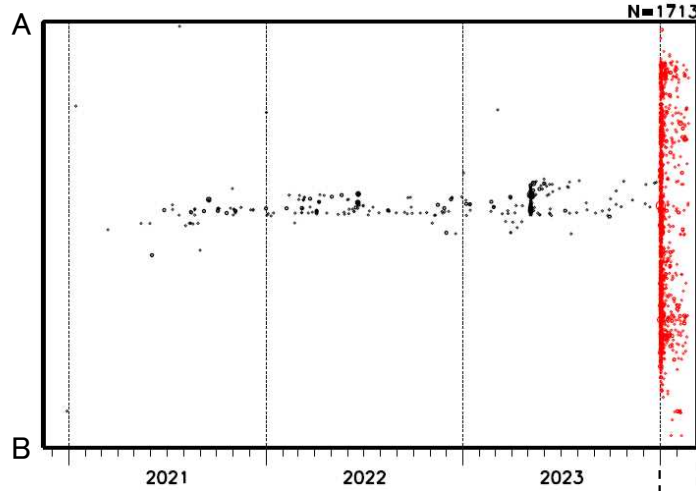
震央分布図

(2020年12月1日～2024年2月22日09時00分、
深さ0～30km、M3.0以上)

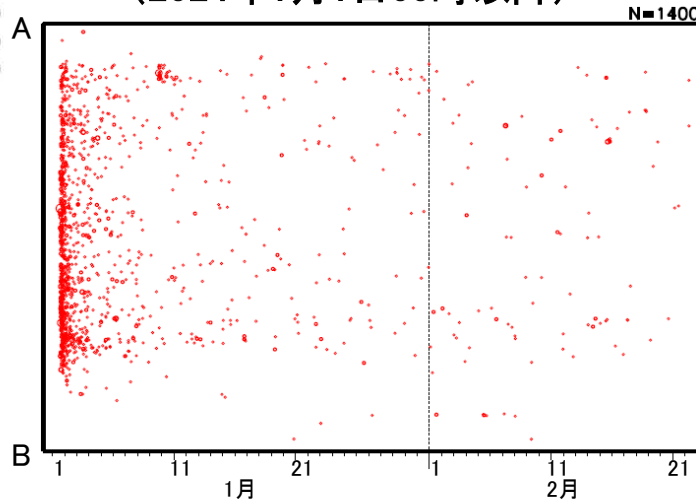
2024年1月1日以降の地震を赤く表示
吹き出しは、最大震度6弱以上の地震
又はM6.0以上の地震



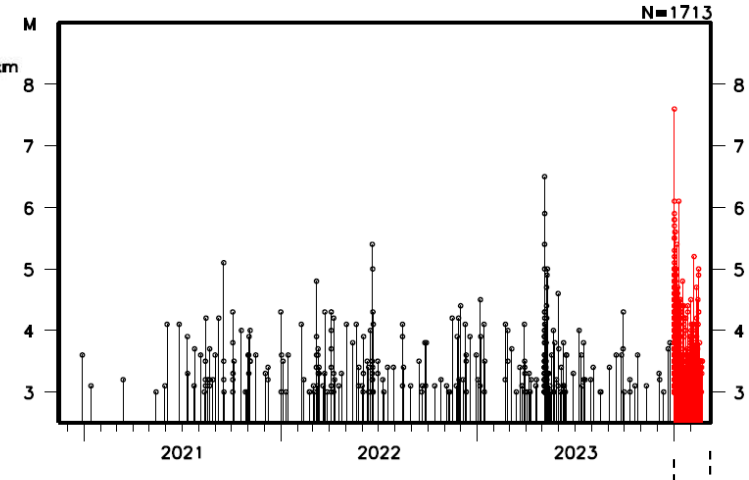
矩形領域内の時空間分布図 (A-B投影、2020年12月以降)



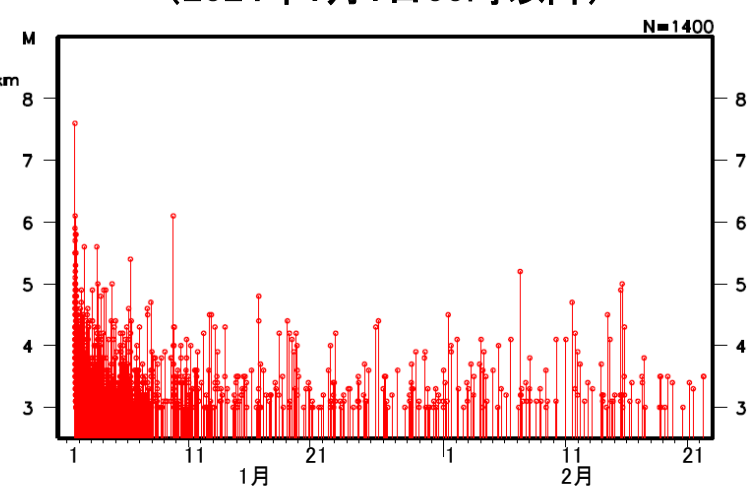
(2024年1月1日00時以降)



矩形領域内の地震活動経過図 (2020年12月以降)



(2024年1月1日00時以降)



丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。
表示している震源のうち、2月21日00時以降のものは速報値。

気象庁作成

令和6年2月22日12時現在

「令和6年能登半島地震」の最大震度別地震回数表

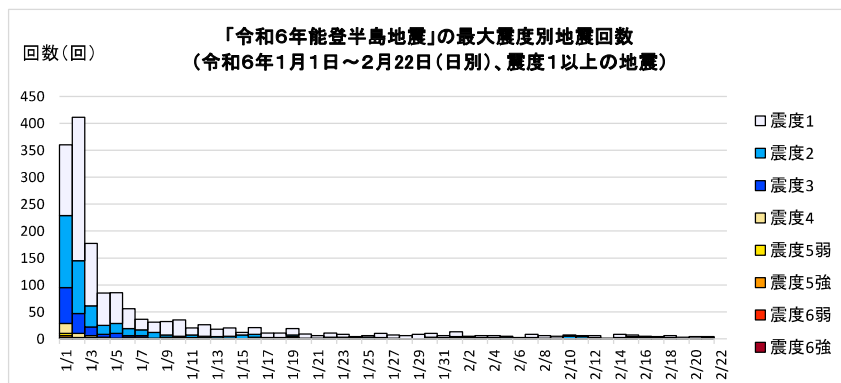
令和2年12月1日00時～令和6年2月22日12時、震度1以上

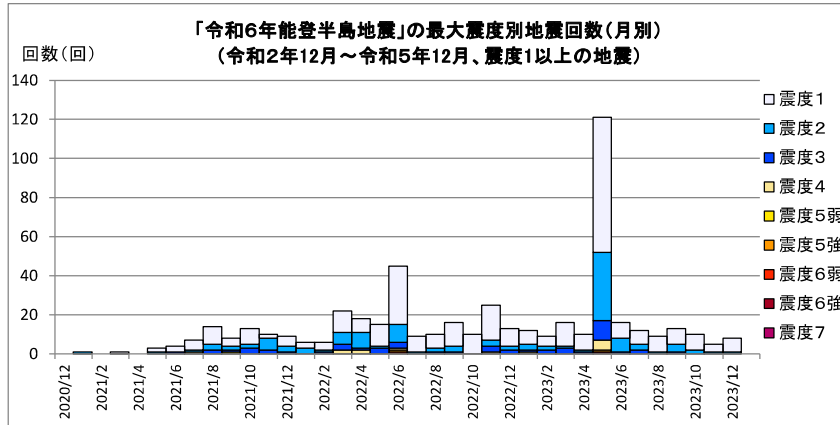
(注)掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合があります。

【令和6年1月1日以降の日別発生回数】

日別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
1/1	131	134	66	19	4	4	1	0	1	360	360		
1/2	266	98	37	8	1	1	0	0	0	411	771		
1/3	116	39	16	4	0	2	0	0	0	177	948		
1/4	60	17	5	3	0	0	0	0	0	85	1033		
1/5	57	19	9	1	0	0	0	0	0	86	1119		
1/6	37	13	3	1	0	1	1	0	0	56	1175		
1/7	19	11	3	3	0	0	0	0	0	36	1211		
1/8	19	11	1	0	0	0	0	0	0	31	1242		
1/9	25	4	2	0	1	0	0	0	0	32	1274		
1/10	30	3	2	0	0	0	0	0	0	35	1309		
1/11	13	5	2	0	0	0	0	0	0	20	1329		
1/12	21	2	2	1	0	0	0	0	0	26	1355		
1/13	14	3	0	1	0	0	0	0	0	18	1373		
1/14	15	4	1	0	0	0	0	0	0	20	1393		
1/15	5	7	0	0	0	0	0	0	0	12	1405		
1/16	13	5	1	1	1	0	0	0	0	21	1426		
1/17	9	1	1	0	0	0	0	0	0	11	1437		
1/18	9	2	0	0	0	0	0	0	0	11	1448		
1/19	12	3	2	2	0	0	0	0	0	19	1467		
1/20	8	1	0	0	0	0	0	0	0	9	1476		
1/21	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	1482		
1/22	8	2	1	0	0	0	0	0	0	11	1493		
1/23	5	1	2	0	0	0	0	0	0	8	1501		
1/24	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4	1505		
1/25	3	3	0	0	0	0	0	0	0	6	1511		
1/26	8	0	1	1	0	0	0	0	0	10	1521		
1/27	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7	1528		
1/28	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1534		
1/29	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8	1542		
1/30	7	2	1	0	0	0	0	0	0	10	1552		
1/31	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6	1558		
2/1	9	2	2	0	0	0	0	0	0	13	1571		
2/2	3	1	1	0	0	0	0	0	0	5	1576		
2/3	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6	1582		
2/4	4	1	1	0	0	0	0	0	0	6	1588		
2/5	2	3	0	0	0	0	0	0	0	5	1593		
2/6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1595		
2/7	6	1	0	1	0	0	0	0	0	8	1603		
2/8	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	1609		
2/9	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	1614		
2/10	2	5	0	0	0	0	0	0	0	7	1621		
2/11	1	4	0	1	0	0	0	0	0	6	1627		
2/12	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6	1633		
2/13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1634		
2/14	6	1	0	1	0	0	0	0	0	8	1642		
2/15	3	2	2	0	0	0	0	0	0	7	1649		
2/16	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5	1654		
2/17	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4	1658		
2/18	4	2	0	0	0	0	0	0	0	6	1664		
2/19	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1667		
2/20	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	1671		
2/21	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4	1675		
2/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1675	12時時点	
総計(1月1日～)	1012	429	168	48	7	8	2	0	1		1675		

※[2/20更新]精査により、2月18日の回数を変更しました。





【令和2年(2020年)12月以降の発生回数(年別)】

年別	最大震度別回数									震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
2020/12/1 - 12/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2021/1/1 - 12/31	39	19	10	1	1	0	0	0	0	70	70	
2022/1/1 - 12/31	130	39	18	6	0	1	1	0	0	195	265	
2023/1/1 - 12/31	151	61	21	6	0	1	0	1	0	241	506	
総計(2020～2023)	320	119	49	13	1	2	1	1	0	506	506	

2020～2023	320	119	49	13	1	2	1	1	0	506	506	
2024/1/1 - 31	941	395	159	45	7	8	2	0	1	1558	2064	
2024/2/1 -	71	34	9	3	0	0	0	0	0	117	2181	
総計(2020/12/1～)	1332	548	217	61	8	10	3	1	1		2181	

※2024/1/1以降は領域を広げてカウントしています。